

# 牧草の大量要素欠乏症

## I 牧草の加里欠乏

石塚嘉明\* 原田 勇\*\* 林 満\*\*\*



ないと、他の成分をいかに与えても収量の増加は望めない。このような牧草地は北海道にきわめて多い。家畜の尿はよい加里肥料である。

### Alfalfa (ルーサン)

Alfalfa の加里欠乏は生育の初期、あるいは再生長の初期よりも、生育が最も旺盛になるその中間の時期（出蕾期）に肉眼的に観察しやすい。この頃、上部よりやや下位の葉の先端より内側に向って白い胡麻粒大の明瞭な斑点を生じてくる。その後漸次この斑点は上部葉にも出現してくる。斑点を生じた葉はその後外側よりやややすく褐変し、これが漸次中央に拡がりやがて枯死して脱落する。

この程度明瞭な欠乏症を呈するものの草丈は正常のものに比して小さく、また収量も低い。対策は Red Clover の場合と同様である。

\*北海道大学農学部 土壤肥料学教室 教授

\*\*酪農大学 助教授 \*\*\*北海道農業試

験場畜産部 草地土壌研究室 技官

### Red Clover (赤クローバー)

正常なものに比して、最初は葉全体が濃緑となり、ついで下部の葉の外側が褐変して下に弯曲してくる。それと同時にその内側に胡麻粒大のやや白色の斑点を生じ、この症状は漸次内側に拡がりその周辺は褐変してゆく。加里欠乏症は普通下部葉から起り、欠乏の程度が進むにつれて上部葉に移行する。

加里欠乏が一般に判定し難い程度でも刈取後の再生長葉には典型的に出現し易いので、この時期に注意して観察するとよい。

肉眼で加里欠乏と判るような症状を呈した草の収量は正常なものに比べ50%位となり収量に与える影響がかなり大きい。この際は加里の追肥をおこなわ

